

東北農業青年応援通信第130号

トピックス

1. 新規就農チャレンジ事業及び地域農業構造転換支援事業の要望調査を実施しています（東北農政局）
2. スマート農業イノベーション会議（IPCSA、イブサ）のご紹介（東北農政局）

1. 新規就農チャレンジ事業及び地域農業構造転換支援事業の要望調査を実施しています（東北農政局）

本事業では、地域農業の構造転換に向けて、新規就農者や地域の担い手が早期に経営発展するために必要な農業用機械・施設の導入等の取組を支援します。現在、要望調査を実施しておりますので、農業者から市町村への申請期限や採択の要件等につきましては、お住いの市町村にご確認ください。

どちらの事業もこれまでの事業（経営発展支援事業、農地利用効率化等支援交付金）より補助上限額が大きく設定されており、スマート農業用機械の導入にも活用しやすくなっておりますので、是非ご検討ください。

<主な事業要件>

- ・ 補助率：3/10 以内
- ・ 国費補助上限額：個人1,500 万円以内、法人3,000 万円以内
- ・ 対象者：新規就農チャレンジ事業 地域計画の目標地図に位置付けられた認定新規就農者（65 歳未満）

地域農業構造転換支援事業 地域計画の目標地図に位置付けられた担い手

- ・ 成果目標（以下のいずれか1つを設定）

1. 経営面積の3割以上の拡大
2. 付加価値額1割以上の拡大
3. 労働生産性3%以上の向上

<詳しい内容こちらから>（農林水産省）

新規就農チャレンジ事業

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/challenge.html

2. スマート農業イノベーション会議（IPCSA、イプサ）のご紹介（東北農政局）

農林水産省と農研機構は、スマート農業の開発と普及の好循環の形成を推進していくため、農業者が中心となって運営する多様なプレーヤーが参画したスマート農業イノベーション会議（IPCSA）を令和7年度に設置しました。（会員数 1,641（R8.5.7時点）、会員募集中！（会費無料））

本会議において、情報の収集・共有・発信、関係者間のマッチング、人材育成、技術的な検討等を通じ、会員の自発的なコミュニティ形成の促進を支援しています。

<詳しい内容はこちらから>（IPCSA）

IPCSA 活動概要チラシ https://ipcsa.naro.go.jp/assets/pdf/ipcsa_activity_flyer.pdf

スマート農業イノベーション推進会議(IPCSA) <https://ipcsa.naro.go.jp/>



発行：東北農政局経営・事業支援部経営支援課

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL：022-221-6217

◇バックナンバーはこちらから↓

https://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/new_farmer/ouen.html

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方や配信停止をご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

tohoku_ag-seinen@maff.go.jp

